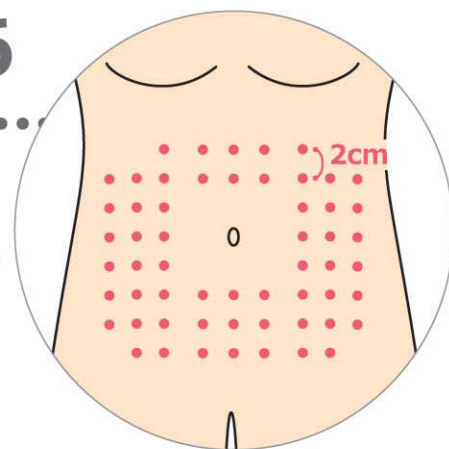


インスリン自己注射のポイント 6

注射は同じ部位で、
少しずつ位置を
ずらしながら
毎回違う場所に打ちましょう



監修：萬田記念病院 薬局長 中野玲子先生



サノフィ・アベンティス株式会社

sanofi aventis

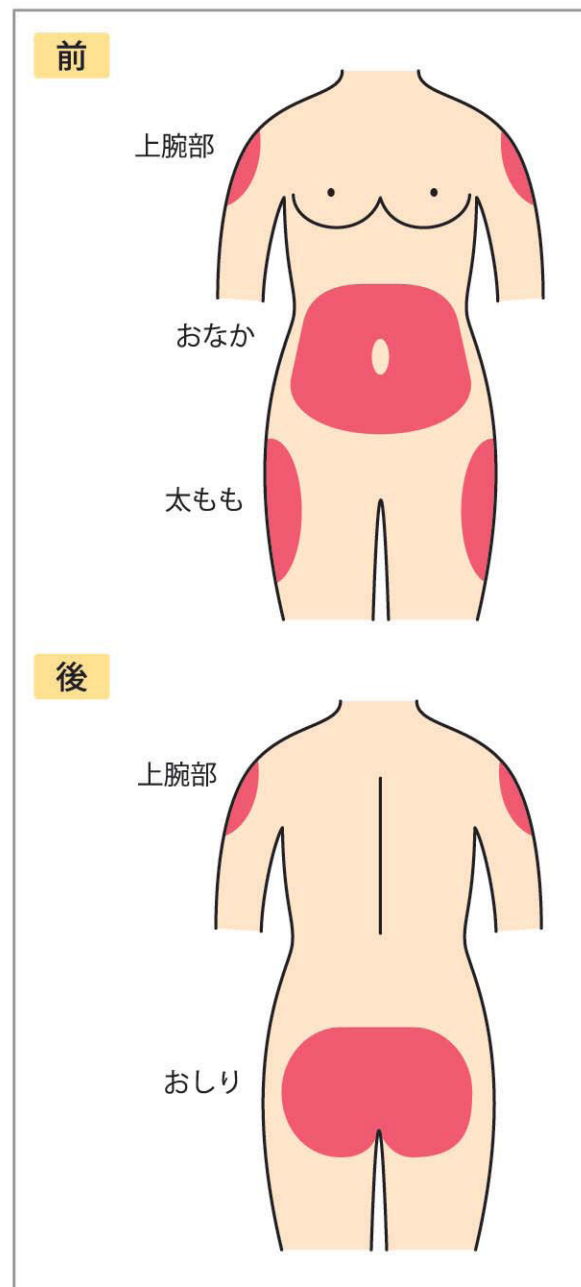
Because health matters

注射は同じ部位で、少しずつ位置をずら

なぜ？

毎回同じ部位に注射をする理由は・・・

- 注射できる部位は
おなか、上腕部、おしり、
太ももの外側
- 吸収速度は速い方から
おなか、上腕部、おしり、
太ももの外側の順となるため、
毎回同じ部位に注射をしないと
インスリンの持続時間が変わり、
期待する効果が得られない
可能性がある



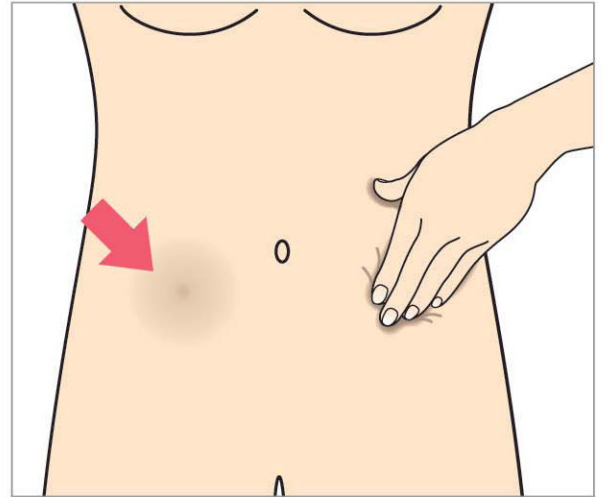
ポイント

たとえば、おなかに決めたら、
毎回おなかに注射をする

しながら毎回違う場所に打ちましょう

なぜ？ 毎回同じ場所に注射をしてはいけない理由は…

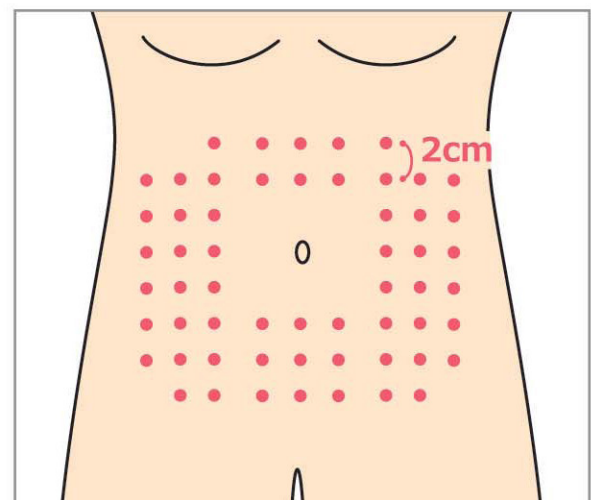
- 同じ場所に注射針を刺し続けると皮膚が硬くなってしまふ
その結果インスリンの吸収が悪くなり、期待する効果が得られない可能性がある
- 皮膚の赤みや、かゆみの原因となる



よく注射をしている場所をなでて、ふくらんでいたたり、硬くなっている場所があれば要注意

ポイント 注射の場所の工夫

- 注射は同じ部位で、違う場所にする
- 毎回2~3センチずつずらして注射する
- よく注射をしている場所をなでてふくらんでいたたり、硬くなっている場所があった場合には主治医に相談する



サノフィ・アベンティス 糖尿病関連医療機器サポートダイヤル

操作方法を24時間365日サポート

オペチャコール **24**

 24時間365日サポートダイヤル

 **0120-49-7010**

ヨクナレ糖